

意見交換会実施報告書（地区コミ単位）

【2班】

地 区 コ ミ	鹿島地区コミュニティ協議会			参加人員	3 2 人	
開 催 日 時	平成2 6 年 5 月 3 0 日（金） 1 9 : 0 0 ～ 2 0 : 3 0					
開 催 場 所	鹿島地区コミュニティセンター					
出 席 議 員 （ 担 当 ）	議 員 名	出 欠	担 当	議 員 名	出 欠	担 当
	佃 昌樹	○		今塩屋 裕一	○	記録
	大田黒 博	○	司会進行	下園 政喜	○	
	井上 勝博	○				

意見交換の内容

（凡例 ◆地区の意見 ◇議員の意見）

1 恐竜レプリカ設置

《意見交換の概要》

- ◆ 恐竜のまちとしてアピールするために、目立つところに恐竜のレプリカを設置して欲しい。これからも化石が発掘される可能性があり、日本でも有数の発掘場所となっている。観光の一環として、そして子どもたちの将来のためにも藺牟田瀬戸架橋完成前に設置をして欲しい。
- ◆ 化石の研究・調査に入っている熊本大学の関係者からも意見・助言等をいただいているので、地元と熊本大学の関係者等も含めて盛り上げていきたい。
- ◆ いろいろ作られると自然も破壊される。レプリカを設置すれば維持費もかかる。これ以上自然破壊をして欲しくない。
- ◆ 市は、支所を恐竜博物館にする構想を持っているようだが、支所は先輩たちが築き上げてきた財産。その一角を有効活用してアピールしてはどうか。支所の用途については、地元住民が納得できるよう意見を聞いて欲しい。
- ◇ 観光目的として屋外に設置を希望しているのか。それとも学術的に屋内に設置を希望しているのか。また、展示の仕方など、地域としての意見はまとまっているのか。
- ◆ 観光アピールと子どもたちのために、屋外に設置して欲しい。
- ◇ 地質学的にも研究して広い視野にたったアピールもしてはどうか。
- ◆ 熊本大学は地層を調査中に、化石を発見した経緯がある。
- ◇ 観光アピールだけでなく、学術的にも研究されているということもアピールできるよう熊本大学とも協議をしていくべきだと思う。
- ◆ 熊本大学と住民と共同で化石の発掘をするなど、住民も観光客から尋ねられたら答えられるよう勉強をしている。
- ◆ レプリカ設置よりも調査をさらに進めるべき。化石のさらなる発掘でアピールすべき。
- ◇ 地域でどのような形で盛り上げていくのかコンセンサスをとって欲しい。その上でアピールの仕方等を検討し、地域の気概を高めて、それから行政へ要望をして欲しい。我々も努力していく。

《主な要望等》

- ◆ 恐竜レプリカの設置を1日でも早く。

2 ウミネコ留学制度の継続について

《意見交換の概要》

- ◆ 留学生制度は、ぜひ継続して欲しい。教育効果があり、地元及び留学生の子どもたちがお互いに刺激を受け、高め合っている。留学生制度がないと学校全体で2学級となり、その場合教頭が担任となり、子どもたちや学校運営にとってデメリットとなるので、継続を強く希望する。留学生の数は増えており、維持及び増加のため情報発信を続けていきたい。
- ◆ 現在は、県の補助事業だが、合併前は村の単独事業だった。議員の力で継続をして欲しい。
- ◆ 合併前は、費用負担が実親2万円、村4万円だった。現在は折半となっているようだが、負担割合を考えながら受入体制の強化をする考えはないか。
- ◆ この制度は、鹿島小学校の存続のためだけなのか。議員の意見は。
- ◇ 学校は、学ぶ場だけでなくコミュニティの核になる場所である。また、小さな学校で学びたい子どもたちもいる。そういう場所は残してもらいたい。
- ◆ 学校の存続だけでなく、鹿島で学んだ子どもたちが、また鹿島に戻ってきたい。住みたいという方向性を持って欲しい。
- ◇ 地元の方々が頑張って学校が維持できている。そしてここが頑張りどころ。高齢化率などを鑑み、里親として受け入れ体制が継続できる状況なのか確認したいところ。

《主要要望等》

- ◆ 留学制度は今後もぜひ継続すべき。

3 鹿島支所職員の減に歯止めを

《意見交換の概要》

- ◆ 鹿島では火事が起きた場合、消防団より支所の職員が先に対応する。支所職員が減少することは、鹿島地域、甕島において非常に不安であり、切実な問題である。これ以上職員を減らさないで欲しい。
- ◇ 本土地域とは事情が違うことが分かった。支所が地域の個々の支えとなっており、継続すべきと考える。地方交付税についても政府方針も変化してきた。これに基づき、定員適正化も方針変更をすべきであり、職員数1,100人を維持すべきと主張したい。
- ◆ 定員適正化の見直しをお願いしたい。鹿島では今年から教育課長がいなくなり、現在職員1人、嘱託員1人で対応している。この体制で対応できるか懸念しており、まちづくり懇話会で要望したいと思う。
- ◇ 以前、消火栓の水不足の問題があると聞いていたが、現在では解消されているのか。また、現在の鹿島地域の消防団員の数は。
- ◆ 水不足の問題は解消されており、消防団員は女性も含め42人である。
- ◆ 台風発生時などの対応については、支所職員と消防団員で対応している。支所職員が減ると、様々な対応、避難など、活動ができなくなる。
- ◇ 市長に問うと、財政問題を挙げるが、財政より住民サービスではないかと思う。支所については、現状維持より充実を要望していく。まちづくり懇話会でも住民から強く要望してみたい。

《主要要望等》

- ◆ 支所職員の持つ力は大きい。支所職員を減らさないで欲しい。

4 その他

《要望等》

- ◆ 恐竜調査などの学芸員の配置をお願いしたい。
- ◆ 恐竜レプリカの問題については、観光面から藺牟田瀬戸架橋が完成するまでに設置するという方針だが、コミュニティ協議会として、鹿島地域の方針を一本化して出したほうがよいのか。
- ◇ 観光面か学術面か住民の意見を統一したほうがいいのではないかと思う。
- ◆ 藺牟田瀬戸架橋が完成したら、鹿島地域が埋没してしまうのではないかという危機感があるので、目立つところにレプリカの設置をして欲しい。

- ◆ 鹿島地域に対する具体的な方針、課題など議員に意見を聞きたい。
- ◇ 観光客から断崖に感動したという感想を聞いたことがある。断崖、恐竜の化石、かのこユリなど、どこにもひけをとらない材料がある。
- ◇ 高速船について、島民の方々にも乗船してもらい意見を聞きたい。恐竜や釣り、島独自の魚料理など、様々な部分を関連づけて、観光案内ルートを作成し、アピールに努めて欲しい。
- ◇ ウミネコ留学制度など、甑島の情報をインターネット等で積極的に活用し発信していくべき。
- ◇ ブルーツーリズムなどの民泊で若者を呼び寄せることができるので、島民皆で支え合う雰囲気を持って頑張ってもらいたい。

- ◆ 夜萩丸山公園への道路の拡幅とロードミラーの設置をお願いしたい。

- ◆ 高速船について、鹿島の住民は利用していない。増便をして1日1回でも寄港して欲しい。そうでもしないと利用客は増えないと思う。

- ◆ 燃料価格について、国の補助があるが、それでも高い。漁業者が多いので燃料費を市からの補助はできないか。
- ◇ 燃料費の補助について、皆さんで話し合い、陳情をあげてみてはどうか。